

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 9 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成30年1月9日

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## はつらつとした学校、地域に輝く学校を目指して

校長 中島 俊尚



新年おめでとうございます。保護者・地域のみなさまには健やかに新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。平成30年も大原中学校へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

平成29年度保護者アンケートの結果をみると、「わかりやすい授業が行われているか」について、「①そう思う②ややそう思う」と肯定的に回答していただいた方は67.0%（昨年度は69.1%）、前回より2%減ってしまいました。原因のひとつとして校長のPR不足もあったのではないかと反省しています。ぜひこの学校だよりを最後までお読みください。一方「あいさつ」については84.2%の方から肯定的な評価をいただきました（昨年度は83.0%）。さらに「登下校時の歩き方(交通マナー)」については65.6%の方から肯定的な評価をいただきました（昨年度59.6%）。しかし、私は、この3つとも決してよい結果とは考えておりません。アンケートの自由記述欄には「あいさつと登下校時の歩き方」について「全く改善されていない」との厳しいご指摘もいただいております。今回の保護者アンケートの回収率は72.8%（昨年度は75.0%）、ご協力ありがとうございました。

「生徒のあいさつがよくなっているか」については、昨年7月から12月まで教職員にも職員会議の際に挙手制で確認しております。7月は16名、全体の45%の教職員が「よくなっている」と認めました。9月は12名、全体の33%に減少、心配になりましたが、12月は27名、全体の75%が挙手しました。一方「登下校時の歩き方がよくなっているか」については、7月、9月、12月、この3回とも「よくなっている」と認めた教職員はおりませんでした。先日も歩道橋、横断歩道を使わず、産業道路を突切った生徒がおり、文書でもお知らせしたとおりです。あいさつと登下校時の歩き方についてはもちろん3学期も重点にしていまいますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校では「確かで豊かな学び」をキーワードに生徒の学力向上、教員の授業力向上に力を入れております。教員の授業研究は生徒によりよい授業を提供し、さらなる学力向上を目指して行うものです。今年度から「授業改善のための6つの視点」に基づく授業研究が盛んに行われるようになり、12月末現在ではほぼ全ての教員が研究授業を1回は実施済みです。6つの視点とは①生徒との信頼関係がしっかり築かれている②授業のねらい、目標がはっきりしている③生徒の興味・関心、やる気を高めるための工夫がある④授業のねらいに迫るための価値ある活動の時間がたっぷりとられている⑤生徒一人一人に応じている⑥学習への満足感・達成感がある の6つです。

担当教科が異なっても、共通の視点に基づく授業なら相互に意見交換が可能と考えました。学習指導案はA4版1枚程度とし、提案内容を絞ったものにしました。さらに授業は参観したものの研究協議には参加できない教員のために、あるいはその研究協議も短時間で効果的なものにするために、授業を参観した直後に3行感想という簡単なメモを書いて授業者に渡すことにしました。授業者は昼休みまたは放課後に開かれる研究協議までにすべての3行感想をコピーして持参します。このコピーのおかげで短時間でも焦点化された協議が実現しています。先日の上木崎小学校の研究発表会の研究授業でもこの3行感想が使われていたたいへん心強く思ったところです。保護者・地域のみなさまには先ほどの6つの視点を授業参観の視点にさせていただくと幸いです。